クシート通信

線状降水帯 自動で検出



年) 組 (名前 サイン

もある。 2~5年・
が四方ずつの格子 梅雨前線に比べて規模が小さ の甚大な被害につながること 6割を占めるとされ、予想外 予測が困難なのは、 つ一つの積乱雲の広がり

観測網がないことも、

、予測の

に湿度計を新たに導入し、

全国の地域気 水蒸気観測を

上の観測網も拡充する。 こうして得られた水蒸気な

難しさに拍車をかけている。

だが、相次ぐ被害を受け、

蒸気を大量に供給する洋上に

台風や

同庁は観測態勢の強化に乗り

空気が吹き込む九州は線状降

東シナ海から暖かく湿った

に、大雨の確率を地域ごとに

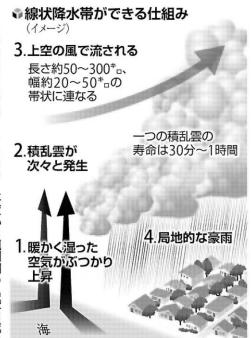
は線状降水帯の発生半日前

水帯が発生しやすいため、

降雨域。集中豪雨の原因の約 々に発生し、帯状に連なった 線状降水帯は、 しい発生予測

積乱雲が次 にくい。30分~1時間ほどの 短時間で発生しては消えるこ する現状の予測手法では捉え に区切って気象データを分析 積乱雲のもとになる水 始める。 の半数に当たる約690か所 象観測システム(アメダス) を重点配備し、 である東シナ海に観測船2隻 年度から観測網の「空白域 また、

しんこく 深刻な水害をもたらす「線状降水帯」が発生した際に けいかい ま 警戒を呼びかける運用を、気象庁が6月17日から始めま した。ただ、現状では正確な予測は困難とされています。



(2020年11月19日 読売新聞朝刊より)

帯が発生した際に警戒を呼び を活用し、17日から線状降水 発表した。気象庁はこの技術 会などの研究チームが11日、 科学技術研究所や日本気象協 検出するシステムを開発した かける「顕著な大雨に関する 線状降水帯」の発生を自動 大規模水害を引き起こす 国立研究開発法人・防災

17日から運用

どをもとに、大雨災害の危険 を自動的に特定する技術を開 度が急激に高まっている雨域 雨域。

チームは雨量データな 々と発生して帯状に連なった 情報」の発表を始める。 線状降水帯は、積乱雲が次

(2021年6月12日 読売新聞朝刊より

【1】線状降水帯とは 何ですか。

どのデータを基に、2年後に

【2】線状降水帯の発生予測が困難な理由を3つ挙げましょう。

-			
.			
 .			

【3】次のうち内容が間違っている文の番号を**すべて**書きましょう。ない場合は①としてください。

- ①線状降水帯の発生を予測する「顕著な大雨に関する情報」を発表する運用が始まった。
- ②気象庁は、2023年を目標に線状降水帯の発生半日前の情報提供を始めたい考えだ。
- ③線状降水帯は、集中豪雨の原因の約6割を占めるとされる。
- 物んそくもう くうはく いき 観測網の「空白域」の南シナ海で水蒸気観測に乗り出した

2				
•		_		

©The Yomiuri Shimbur